

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター国際感染症センターでは、本センターで保管している診療後の残余（余った）検体と診療情報等を使って、下記の研究を実施します。この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問合せ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の検体・診療情報等を「この研究に利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の問合せ担当者までお申し出ください。未成年の場合、保護者の方からの申し出も受け付けております。お申し出頂いたことにより不利益が生じることは一切ありません。

[研究課題名] DiseaseX に備えた新興・再興感染症の前向き観察研究（X-pro）

[研究対象者] 2022 年 7 月 1 日～ 現在までの間に、国立国際医療センターにおいて以下の疾患について診療を受けられた方。

対象疾患： X-pro で承認を受けた疾患（エムボックス（サル痘）、小児肝炎、重症呼吸器感染症、節足動物媒介感染症など）

[利用する診療情報等の項目と取得方法]

検体：血漿、血清、呼吸器検体、病変部ぬぐい液、尿、便等

診療で検査を行った後に余ったものを利用します。

診療情報等：診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、併存疾患名、血液生化学検査データ、画像データ、治療内容等カルテから上記に該当する情報を収集し利用します。

[利用の目的] （ヒト遺伝子解析研究： 無 ）

感染症の病態の解明、診断・予防・治療に役立つ学術研究目的で利用します。

[研究実施期間] 倫理審査委員会承認後より2032年6月30日までの間（予定）

[この研究での検体・診療情報等の取扱い]

国立健康危機管理研究機構倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、利用・提供する検体や診療情報等から氏名、生年月日等の情報を削除し、個人が特定されないように加工をしたうえで取り扱います。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問合せ担当者]

機関長：国立健康危機管理研究機構 理事長 國土 典宏

研究責任者：国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 国際感染症センター
センター長 大曲貴夫

問合せ担当者：国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 国際感染症センター
岩元典子 石金正裕

電話：03-3202-7181（代表）（受付時間：平日9 時～16 時）